

GRCS のセキュリティソリューションに MSS for Incapsula が採用

～セキュリティ専門家による運用・監視によって企業のセキュリティ対策運用負荷を軽減～

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 阿多 親市、以下、SBT）の提供する「マネージド・セキュリティ・サービス for Imperva Incapsula」（以下「MSS for Incapsula」）が、株式会社 GRCS（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐々木 慈和、以下 当社）のセキュリティソリューションポートフォリオに採用されました。

MSS for Incapsula は大規模な DDos 攻撃にも対応可能な Imperva Incapsula により Web アプリケーションのセキュリティを強固にするだけでなくセキュリティ専門家による運用・監視によって企業のセキュリティ対策運用負荷を軽減します。また運用・監視には SBT 独自の AI を活用し、より精度の高いかつスピーディーな脅威検知が可能となっています。

GRCS は、企業を取り巻く複合的課題を GRC（Governance、Risk、Compliance の総称）とセキュリティの側面から解決するサービスを提供しており、コンサルティングを始め多くの実績と深い知見があります。当社の MSS for Incapsula を組み合わせることにより、昨今急増する Web アプリケーションに対するサイバー攻撃に対して、コンサルティングからセキュリティ監視まで一貫したサービスで、企業のセキュリティ対策を総合的に支援することが可能となります。

<Imperva Incapsula について>

世界中に配置した Imperva 社のシステムを活用した、WAF、DDos 攻撃対策、DR（グローバルロードバランス）、CDN（コンテンツデリバリーネットワーク）機能を有するクラウド型のセキュリティサービスです。クラウドサービスを利用するお客様やお客様が運営する公開システムを外部攻撃者の不正なアクセスから守ります。

<https://www.softbanktech.jp/service/list/imperva/incapsula/>

<マネージド・セキュリティ・サービス for Imperva Incapsula について>

高度な分析技術と知見を有する SBT のセキュリティアナリストが 24 時間 365 日お客様にかわってクラウド WAF を運用・監視します。攻撃通信のブラック・ホワイトリスト管理や誤検知解除などの適切なチューニングと、より高いレベルへの改善活動による運用・監視を実施することにより、セキュリティレベルの維持・向上と、最新の脅威に対応した最適なセキュリティ対策を提供します。また 2018 年 5 月には、独自の脅威検知 AI を搭載したログ分析プラットフォームを Microsoft Azure 上で構築するなど、セキュリティアナリストのより高度な分析や、脅威検知のスピード向上といったサービスの強化も実施しています。

<https://www.softbanktech.jp/service/list/managed-security-service/mss-for-imperva-incapsula/>

■株式会社 GRCS について

GRCS は、企業を取り巻く複合的課題を GRC（Governance、Risk、Compliance の総称）とセキュリティの側面から解決する IT サービスパートナーです。コンサルティング及びそのノウハウをベースに開発した、セキュリティインシデントや外部委託先の管理を行うための独自の IT-GRC ソリューションや、最新のセキュリティソリューションを提供し、企業経営における迅速な意思決定とその対応を支援します。詳細はこちら (<https://www.grcs.co.jp/>) をご覧ください。

報道関係者様向け
お問い合わせ窓口

ソフトバンク・テクノロジー株式会社 コーポレートコミュニケーショングループ（吉田、與儀）

TEL：03-6892-3063 / Email：sbt-pr@tech.softbank.co.jp